

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	越谷市立赤山保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	藤田 恵子	定員(利用人数)：	100 名
所在地：	〒 343-0807 埼玉県越谷市赤山町4丁目2番11号	TEL	048-965-3400

③総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>○地域資源を活かした保育活動や子育て家庭支援などが保護者の信頼につながっている 高齢者のデイサービス施設との交流やお話し会による読み聞かせ、中学生の職場体験による子どもたちとの交流など、地域の資源を活かした取り組みが子どもたちの保育所生活に幅を持たせている。また、園庭開放やプール開放、あそぼう会の取り組みなど、地域の子育て家庭に向けた支援活動にも力を入れており、保護者からの信頼関係醸成につながり、地域の中での子育て拠点としての役割を果たしている。</p> <p>○様々な食育活動が行われ、子どもが楽しく食に関心をもつ機会を提供している 幼児クラスの裏側にある畑ではサツマイモや茄子、ピーマン、枝豆などの野菜が四季を通して栽培され、収穫した野菜がカレーづくりや芋煮会などの保育活動に活用され、子どもたちが楽しく活動する機会を大切にしている。5歳児になると栄養士が先生になり栄養教室が開かれ、3大栄養素が自分の身体をつくるために大切なことを学ぶ機会をもっている。学んだことが毎日の献立に3大栄養素のどれが入っているのかの確認をする当番活動で活かされ、給食室前に掲示されるなど食への関心を深める取り組みが行われている。</p> <p>○保育所の温かい雰囲気を活かした保育が高い保護者満足度となっている 保護者アンケートでは満足度は100%であり、保育内容への保護者からの要望に関するコメントは少なく、保育所の温かい雰囲気に関する好印象が目立っている。子ども一人ひとりを尊重し個性を大切にされた保育を展開しており、のびのびとゆったりとした保育所生活が進められていることが窺える。また、丁寧な保護者対応やコミュニケーション、職員間での連携体制、朝夕の職員を固定するなどの延長保育への対応などが保護者からの高い満足度につながっていると考えられる。</p>

◇特にコメントを要する点

○保護者との信頼関係を活かしつつ、保育目標や指導計画の内容をさらに丁寧に伝えることも望まれる

保育理念や方針等を保護者へ説明し、クラス毎の目標やデイリープログラムも保護者会資料やクラス室内に掲載・明示している。日々の保育活動の様子は、0～2歳児での連絡帳と3歳以上のクラスに設置されているホワイトボードで適宜伝えており、保育活動に関する保護者からの満足度は高い。しかし、利用者調査からは保育目標への理解度、保育の様子や保育者としての考えを保護者へ伝えることに関して工夫が期待されていることが窺える。また、保育士が子どもたちをどう見立てたかということや大切にしている保育者としての視点、援助への関わり方を伝えるさらなる工夫も望まれる。そのため、子ども一人ひとりの指導計画の内容をさらに丁寧に保護者に伝え、具体的なエピソードとともにそれぞれの場面で職員がどのような思いで、どう関わったかが知ってもらうことで、保育に関する想いなどを保護者と共有できる工夫も望まれる。

○子どもが主体的に遊びを選べる保育室のおもちゃ環境の工夫を期待したい

保育室にあるおもちゃは、ダンボールや籠の中に収納され、押入れの下の空間や棚に置かれており、自由遊びの時に出して遊ぶことができるようにしている。子どもにとって、おもちゃと自由にかかわって遊んだり、自分から遊びを選び取って遊ぶことができる環境は成長にとって大事なこととされている。保育者主導ではなく、子どもが好きなおもちゃを自由に手に取ることができる収納の工夫やおもちゃの見せ方、一つのものでじっくり遊ぶことができる空間や時間を保障できる環境の設定などの工夫を、おもちゃのさらなる充実と合わせて期待したい。

○情報の提供場所や見せ方をさらに工夫することで、保育への理解をさらに促進されたい

保育所建物の配置上、入り口が多い形状となっており、パンフレットなどを分けて配置する工夫などを行い、保護者が情報を把握しやすくする配慮をしている。玄関先に子育て情報を掲示したり、給食のサンプル展示を行い、意見箱を設置して要望などをさらに効率よく把握し活用するためには、さらなる工夫が必要と考える。保護者の動線と入り口の関係を考慮して、情報を掲示する場所や見せ方などをさらに配慮することで保護者の保育への理解度向上につなげられたい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受けるにあたり、職員の共通意識と再確認のために定期的に時間を設け、マニュアルの読み合わせを行いました。職員一丸となって取り組んだことにより、いろいろな面において気づきが多々あり、有意義なものとなりました。評価機関の調査員の方からの様々なアドバイスもとても参考になり、改善点や課題が見えてきました。特にコメントを要する点で挙げられましたように、指導目標や指導計画の内容を更に丁寧に保護者へ伝えていくことの必要性、そして子どもが主体的に遊びを選べる環境の重要性を痛感いたしました。

利用者調査票からは、保護者の皆様の貴重な意見や思いを知る事が出来、又、満足度が高い評価を頂き、職員の大きな励みとなりました。

平成27年度から新制度になり、公立保育所を取り巻く環境も変わりますが、「保育の質の向上」と「保護者へのサービス向上」を念頭に置き、子ども一人ひとりを尊重し個性を大切にした保育を引き続き実践し、保護者の皆様に信頼されるより良い保育所作りを目指していきたいと思います。

今回評価いただいた評価機関の皆様、アンケートにご協力いただきました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙